



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度 国際ロータリーのテーマ
レイ・クリンギンスミス

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2010 ▶ 2011 WEEKLY REPORT

会長／二ノ宮清信 幹事／森 俊二

留萌ロータリークラブ
会長テーマ

みんなで50周年を祝い ロータリーの輪を拡げよう!!

プログラム

●本日	会員誕生日	結婚記念日
地区大会報告	10月31日 中出 敏彦	10月31日 田中 公一
	11月4日 燕 美雪	11月7日 関野 政人
●次週予定	配偶者誕生日	
－法定休日－	10月31日 大嶋 裕子	
	11月1日 明澤 裕子	
	11月6日 深瀬 幸子	

No. 2438
第15回 10月17日
No. 2439
第16回 10月27日

出席報告

前例会

会員総数	44名
出免会員	6名
出免出席	2名
出席会員	26名
出席率	70.00%

前々会

第12回 9月29日

欠席会員	11名
内メイクアップ	1名
修正出席率	75.61%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🔪 会長報告

1. 今週末に開催されます地区大会に於きまして、当留萌クラブが昨年度の会員増強に対し「RI会員増強表彰」を受ける事になりました。

この表彰を受けるにあたりまして、昨年度の対馬会長をはじめとする担当の皆様にご心より感謝を申し上げます。

2. 地区大会に於いて昨年度、第1グループのガバナー補佐を務められました当留萌クラブの田中公一会員に個人表彰である「直前ガバナー特別表彰」が贈られる事になりました。

これは、昨年度の渡邊恭久ガバナーより田中会員のガバナー補佐としてのご功績に対し贈られるものです。田中会員に心よりお祝いを申し上げます。おめでとうございます。

📁 幹事報告

- ・妹背牛RC、羽幌RCより9月度会報、10月例会案内を受領いたしました。
- ・2011～12年度、ガバナー・エレクト事務所から開設のお知らせを頂きました。次年度に向けていよいよ始動しました。

📁 3分間情報

「国際奉仕」 会員研修委員会
ロータリーの第4奉仕部門。国際奉仕とは、ロータリアンが、国際理解、親善、平和を推進するために実施できるすべてをいう。概念上、次の4つの分野に分類できる。

- ①世界社会奉仕活動
- ②国際レベルの教育及び文化交流活動

③特別月間と催し

④国際的な会合

世界中のクラブのネットワークによって、世界のあらゆる地域でロータリアンが、草の根レベルの奉仕活動を行っている。たとえば、他国の人々、その文化、慣習、実績、抱負及び問題を知ることであり、また国際大会による個人交流であり、他国の人々に役立つクラブ活動やプロジェクトに協力することである。したがって、クラブリーダーシッププランでは、奉仕プロジェクト委員会に含まれる。個々のロータリアンとクラブは、目的達成に積極的に寄付するよう期待されている。

【三二情報】

*骨盤おこし

骨盤は、後ろに傾くと姿勢が悪くなり、腰にも負担がかかる。

骨盤おこしは、後ろへと傾いた骨盤をまっすぐ立てる方法のこと。骨盤を起こすと、背筋がピンと伸び、腰痛予防にもなる。椅子に座るとき、骨盤を前に傾けて、恥骨や太ももが椅子の座面に当たるように座る。そして顔を前に向けると、背中に力を入れなくても背筋が伸び、内臓も圧迫しないし、股関節の可動域も広がり、長距離を歩くときや階段の上り下りで違いが実感できます。

腰だけで背筋を反らすと逆に腰痛になるので注意してください。

前 回 423,000円

今 回 16,000円

累 計 439,000円

プログラム……………

「合同宿泊学習の様子

～これからの自立に向かって～

留萌小学校校長 尾崎 信幸様

ただいま大変貴重な、そして多分な善意を頂きました。本当にありがとうございます。心から感謝とお礼を申し上げます。留萌ロータリークラブの皆様には日頃から学校教育、とりわけ特別支援教育の充実に温かいご理解とご支援を頂いております。心から感謝とお礼を申し上げます。また、このたびは大変貴重な時間を合同宿泊学習について説明する機会を賜りましたことをあわせてお礼申し上げます。

平成19年から従来の特設教育が、新しい理念に基づく特別支援教育に変わりました。学校教育につきましては、この特別支援教育の充実が大きな教育課題の一つになっているところです。おかげさまで留萌管内につきましては、教育委員会のご指導と担当する教員の熱意によりまして、他の管内に先駆けて先進的な取り組みが進められていると自負しております。先般、札幌で全国の校長大会があり、留萌管内の特別支援教育の取り組みについて発表する機会がありました。「充実した取り組みである」との賛辞も頂きました。

特に今日お話をさせていただく合同宿泊学習は、特別支援の子供たちが課題とする自立する力、社会性、協調性を育てるのに大変有意義な教育

ニコニコBOX……………

・先週(10月6日)の例会、叔父の葬儀の為に東京に行き休みました 申し訳ありません

二ノ宮会員

・私の三女がノボテル札幌で9日土曜日に結婚式を挙げました その時留萌ロータリーより祝電を頂き有り難うございました 深瀬会員

・マージャン大会準優勝しました 関野会員

・一寸良い事がありました 高田会員

・チョット良い事がありました 森(俊)会員



活動であると抑えておりますが、今のところは担当する教員の手弁当の熱意で実施している事業でございます。

ただいま、貴重な善意を頂きましたが、それらを有効に使わせていただき、子供たちの幸せ、子供たちの成長につなげる取り組みに、これからも一層充実を図って行きたいと考えております。今後ともお世話になりますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

沖見小学校教諭 小西 共美様

合同宿泊学習には皆さんの善意を頂いたものを使わせていただいております。

どんな時にどんなことをしているのかということをお話させてください。

留萌地方特別支援教育研究は、北部ブロック（天塩、遠別、初山別、羽幌、苫前、古丹別）と南部ブロック（鬼鹿、小平、留萌、増毛）と分かれています。それぞれ年間4回の合同学習会を実施しています。



<合同宿泊学習の目的>

- ◆ 将来、自立して生活するため
- ◆ 身の回りのことを自分で出来るように
自立して生活するといっても、保護者としては、出来ないこと苦手なことに色々手を掛けてしまいます。そのため自分のことがなかなか出来ない状況になってしまうので、まずは自分の身の回りのことが出来るようになる、ということが一番の目的です。
- ◆ 今、どんな支援が必要かを知り、これからの指導に役立てるために
保護者の元から離れて宿泊をしながら自分で生活するのに、どんな力を付けていかなければ

ならないのかを見取るためにも重要な役割を果たしています。

◆ 宿泊研修や修学旅行に自信を持つために

小学5年・中学2年に宿泊研修、小学校6年・中学3年には修学旅行がありますが、自分のことが自分で出来ないことが起きてきます。その時に自信を持って「みんなと一緒に行動できるんだ」という自信を付けさせるためにも、この合同宿泊学習は大切な学習活動になっています。

<予算>

場所を移動し、宿泊にはお金が結構かかります。親からも持ち出ししていただいておりますが、足りない状態です。

※ロータリークラブからの寄付金

- 中学校 40,000円
宿泊費、研修費（そば作り・パークゴルフ）、食事
- 小学校 60,000円
宿泊費、研修費（陶芸・スイートコーン収穫）、食費

実際に子供たちが学習しているかを説明させていただきます。

中学校の宿泊研修は「ゆうゆうそう」に行きました。

1. 入り口で挨拶をする
社会に出たらまずは挨拶が出来なければなりません。
2. 行動確認
これからの行動を、しおりを見ながら一人一人自分の力で確認をします。
3. オリエンテーリング
肢体不自由な子がいたり、体力的に難しい子もいるため、子供たちに合わせた時間で5キロくらい歩いたようです。いつもは励まされる立場の子たちが、互いに励まし合う力が付いたという報告を受けています。
4. 夕飯づくり（煮込みハンバーグ）
自分たちの食事を自分たちの手で作ることは難しいことです。野菜嫌いの子も自分たち

が切った野菜はおいしく食べられたそうです。

5. そばづくり

大きな器で混ぜていくことが難しいため、講師の先生たちにアドバイスをもらいました。袋に粉と水を入れて振ることで、あまり手が動かない子でも上手にそばを混ぜることが出来ました。将来、仕事をする上でどんな工夫をすれば出来るようになるかということを考えた行事です。

6. 風船バレー

中学生になると激しい運動がありますが、生徒たちの実態的にはゲームを組み立てたり激しく走ることが無理なため、風船のバレーですが一生懸命頑張りました。

7. 言葉当てクイズ

カードにバラバラに4文字を書いて言葉を当てるクイズです。ひらがなを書くのが難しい子、漢字をさらさら書く子とさまざまな状況のなか、みんなで協力し合いゲームを進めました。

■小学校■

1. 挨拶

ゆうゆうそうに入って代表の子が挨拶しました。普段、学校にいると自分がみんなの前で1人で挨拶をする機会はありませんが、この学習の中ではこういうチャンスも経験しました。

2. 陶芸

仕事には色々な手順がありますが、先生以外の方の説明を聞いて作り上げていく体験をしました。今、焼き上がりを待っている状況ですが、自分の作ったお皿で苦手なものも食べられる、自分で作った壁掛けなどで部屋をきれいに飾りたいという活動の広がりを持っています。

3. 夕食づくり

6年生は家庭科の授業もありますが、通常学級の中ではなかなか自分の番がまわってきません。こういう機会があると、自分たちが最上級生だからと率先して仕事をこなしていく姿が見受けられました。

3年生から宿泊学習に参加しています。包丁を使える子、そうではない子もいますが、自分が出れることを先生と見つけて役割分担し、夕食を自分たちの手で作りました。

4. レクリエーション

風船を吹くゲームですが、言葉が不自由な子もいるため、吹くということが口の周りの筋肉をつかうトレーニングにもなります。

5. スイートコーンの収穫

たまたま雨が降りました。将来、雨で仕事を休むことは出来ないし、どんな天気の中でも頑張っている人がいることを体験できました。

休み時間は他の地域の子供たちとの交流もでき、お手紙のやり取りもしています。

子供たちが自分の力で生きていくためには、この合同学習活動はとても大切なことです。この活動があるから、「1年間頑張れる」、「一人で頑張っていこう」、「仲間がいるから頑張れる」という子供たちの声も聞いています。

子供たちの可能性を伸ばすこの機会を、皆さんの寄付でまかなっています。父母の方々にも学級通信などを通してお知らせしていきたいと思っておりますので、これからもご支援をお願いしたいと思います。本日はありがとうございました。



No. 2438

第15回 10月17日

●本日 地区大会(札幌移動例会)

会員誕生日

10月19日 渡部 英次

10月20日 関野 政人

結婚記念日

10月18日 渡邊 裕久

10月22日 行徳 幸治

10月23日 鈴木 康伸

🖋️ 会長報告

1. 本日の地区大会で留萌クラブ及び留萌クラブ会員が表彰されます。

【留萌クラブ】

R I 会員増強表彰

※昨年度の会員増強に対して

【会員の部】

直前ガバナー特別表彰 田中公一会員

出席100%表彰

40年 越野会員

30年 中川会員、田中会員、高田会員

25年 齋藤(清)会員、関野会員、澤田会員

20年 行徳会員、佐藤(喜)会員

15年 山本会員、遠藤会員

10年 大嶋会員

米山財団表彰者 米山功労者 ニノ宮会長
ロータリー財団(マルチプルP・Hフェロー)

行徳 幸治 会員 1 回目

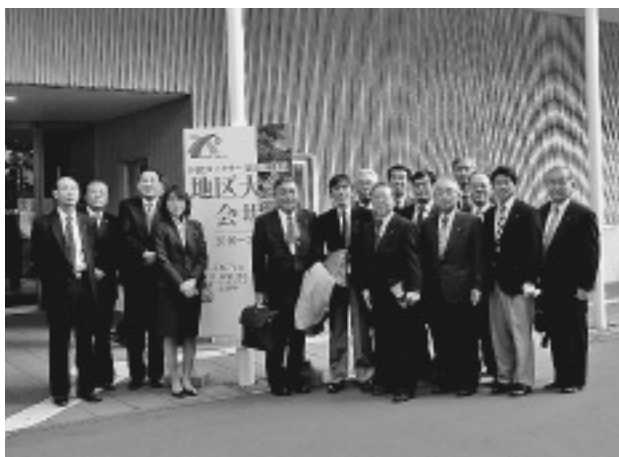
平井 誠治 会員 3 回目

渡部 英次 会員 5 回目

📋 幹事報告

地区社会奉仕委員会より、先日提出した留萌クラブ社会奉仕活動報告書に対し、阪崎委員長自筆の御礼文を拝受いたしました。





例会プログラム【10～11月】

10月27日(水) 地区大会報告
11月3日(水) ー法定休日ー

11月10日(水) 新米大盛り試食会
11月14日(日) インターシティ・ミーティング羽幌